

食品分野における戦略の方向性について

1. 食品分野における本県の特徴について

(1) 製造品出荷額等の割合

- 製造品出荷額、事業所数、従業員数とも、機械、繊維産業に次いで第3位。
- 事業所数、従業員数は横ばい。製造品出荷額及び付加価値額は、大手企業の撤退に伴い減少している。

(2) 食材

- 石川の農作物は少量多品種。
- 加賀野菜など地域資源が豊富。

(3) 食文化

- 加賀百万石の歴史と伝統から発する食文化と融合しながら、清酒・味噌・醤油などの伝統的な発酵食品や菓子類など「食品王国いしかわ」を形成している。

(4) 1次加工施設が不足

- 1次加工施設が不足しており、結果として、県外の業者に加工を委託せざるをえない状況が生じている。

(5) 高等教育機関の集積

- 人口当たりの高等教育機関が多い。

(6) 整備が進む産業インフラ

- 北陸新幹線の金沢開業、能登有料道路などの県内有料道路3路線の無料化、金沢港の大水深岸壁の延伸など港湾機能の向上。

2. 食品産業分野を取り巻く環境変化について

(1) 人口減少による国内市場縮小

- 今後10年間で国内人口は現在の石川県人口の5.6倍減少。
- 国内市場縮小への高い懸念。

(2) 消費者ニーズの変化と新しい市場の拡大

- 中食・惣菜市場が拡大する見込み。
- 介護食市場、高齢者向け宅配サービス市場が拡大する見込み。
- 北陸新幹線の金沢開業に伴う交流人口の拡大。

(3) 海外市場の拡大

- アジア等新興国のGDPが拡大。
- ヘルシー志向による日本食人気とそれに伴う日本酒の進出。

(4) 少子高齢化による生産年齢人口減少

- 生産年齢人口が減少する一方、高齢者の割合が増加。

(5) 国際的な穀物価格の高騰

- 国際的な穀物価格の高騰に伴い、原材料価格の高騰の恐れ。

3. 今後十年間を見据えた食品産業分野の戦略の方向性について

課題① 食材、食文化、国内市場縮小

→ 3-1. 新商品開発

- (1) 他社と差別化可能な新製品の開発

課題② 食材、食文化、1次加工施設の不足

→ 3-2. 農商工連携の促進

- (1) 農商工連携の促進

課題③ 国内市場縮小、消費者ニーズの変化・新市場拡大

→ 3-3. 新分野の開拓

- (1) 新分野の開拓
- (2) 販路開拓

課題④ 食文化、消費者ニーズの変化・新市場拡大（再掲）、海外市場拡大

→ 3-4. 食文化の発信

- (1) 食文化の発信

課題⑤ 国内市場縮小、食材・食文化、海外市場の拡大

→ 3-5. 海外成長市場の取り込み

- (1) 海外の需要を獲得する

課題⑥ 生産年齢人口の減少

→ 3-6. 産業人材の総合的育成・確保

- (1) 若手人材を確保・育成する
- (2) 高度専門人材を確保する
- (3) 高齢者や女性を活用する

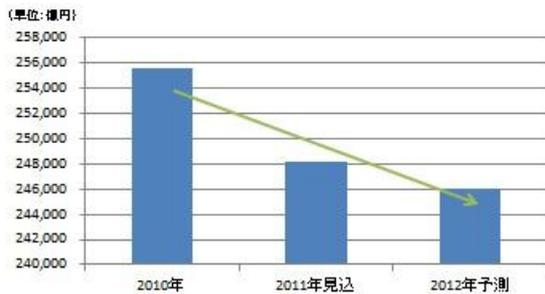
課題⑦ 1次加工施設の不足、国際的な穀物価格の高騰

→ 3-7. その他（産業基盤や事業基盤の強化）

- (1) 県内企業の設備投資促進
- (2) 事業継承を支援する
- (3) 資金調達を円滑化する
- (4) コスト低減、品質向上等の現場力を強化する

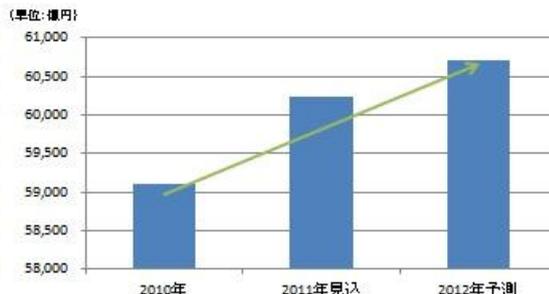
<参考資料>

①外食市場の推移 (全国)



	2010年	2011年見込	2012年予測	12/10年比
外食市場	25兆5,628億円	24兆8,175億円	24兆5,986億円	96.2%
中食・惣菜市場	5兆9,100億円	6兆0,242億円	6兆0,706億円	102.7%

②中食・惣菜市場の推移 (全国)



<中食とは？>

あらかじめ調理された料理を店舗(スーパー、コンビニエンスストアなど)で購入して持ち帰り自宅で食べること。

注)「外食市場」は、本調査で対象とした中食(惣菜を含む市場)、「テイクアウト」、「ホームデリバリー・ケータリング」業態を含まない。
出典)財団法人経済「中食・惣菜市場のメニューチャンネル徹底調査 2011」
<<https://www.fuji-keizai.co.jp/market/12012.htm>>

③介護食市場の推移 (全国)



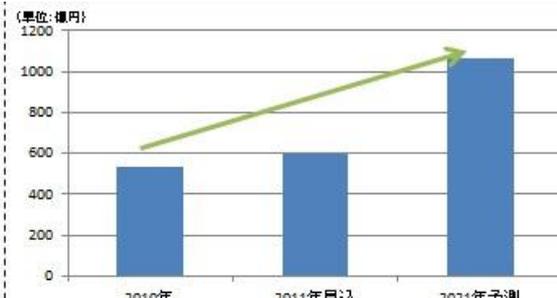
<介護食市場>

	2010年	2011年見込	2012年予測	21/10年比
在宅向け	119億円	129億円	206億円	173.1%
施設向け	859億円	907億円	1,371億円	159.6%
合計	978億円	1,036億円	1,577億円	161.2%

注)本調査における介護食市場は、流動食、やわらか食、栄養補給食、水分補給食、とろみ剤・固形化補助剤を対象に調査

出典)財団法人経済「高齢者向け食品市場の将来展望 2011」
<<https://www.fuji-keizai.co.jp/market/11085.htm>>

④高齢者向け弁当宅配サービスの推移 (全国)

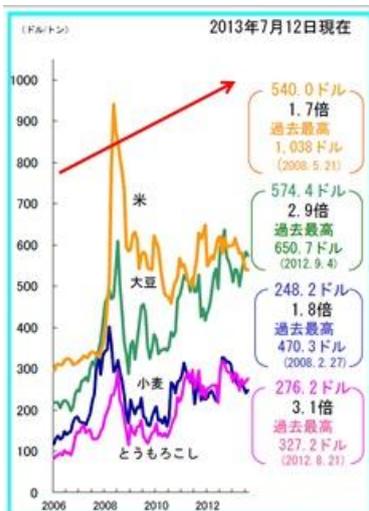


<高齢者向け弁当宅配サービス>

	2010年	2011年見込	2012年予測	21/10年比
高齢者向け弁当宅配サービス	532億円	599億円	1,060億円	199.2%

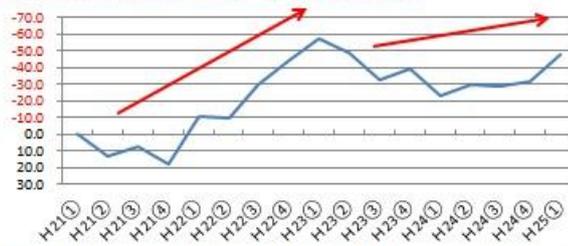
出典)財団法人経済「高齢者向け食品市場の将来展望 2011」
<<https://www.fuji-keizai.co.jp/market/11085.htm>>

⑤国際的な穀物価格の高騰について



⑥食品協会 DI 調査 原材料価格 (前年比)

・前年同期と比べた原材料価格を調査し、前年より改善した(価格が下がった)から悪化した(価格が上がった)を引いたもの。
・**マイナスは原材料価格が上がった企業が多いことを表す。**



資料)石川県食品協会DI調査 注)同調査は会員企業を対象に四半期ごとを実施。

注1:各月第1金曜日(米は第1水曜日)に加え、直近の最終金曜日(米は最終水曜日の価格)を記載。米の価格は、7月10日が未公表のため、7月3日公表の価格である。
注2:過去最高価格については、米はタイ国家貿易取引委員会の公表する価格の最高価格、大豆は外食協会が食品取引所の全ての取引日における最近価格(セfellメント)の最高価格。
注3:図中の倍率は2006年秋値と比較した直近の価格水準。

資料)農林水産省HPより抜粋
<http://www.maff.go.jp/zyukyu/iki/zyukyu_kakaku/>